

第4回EUセミナー

# EUの新たな挑戦

—危機をチャンスに変えて—

開催日：2015年9月18日（金）～20日（日）  
会場：大学セミナーハウス（東京都八王子市下柚木 1987-1）



特別講演

## 「世界の中のEUと日EU関係の重要性」

‘The EU in the world and the importance of EU-Japan relations’

駐日欧州連合代表部 副代表・公使

ジョナサン・ハットウェル（Jonathan HATWELL）氏

※特別講演は英語、通訳付

### 【募集要項】

募集人員：80名(先着順)

参加資格：大学生・大学院生・社会人

参加費：大学生・大学院生は12,000円(会員校は10,000円)

参加費：社会人は14,000円

参加費には2泊3日の宿泊・食事代、資料代、消費税を含みます。  
(会員校についてはホームページでご確認ください。)

申込方法：ホームページ掲載の申込フォームにてお申込み下さい。折り返し  
受付メールを返信しますが、1週間以内に連絡がない場合には、  
お手数ですが、下記までご連絡下さい。

申込締切日：9月10日(木)

問合せ先：公益財団法人大学セミナーハウス

セミナー・留学生グループ

〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

TEL:042-676-8532(直通) FAX:042-676-1220

E-mail: seminar-g@seminarhouse.or.jp

URL: <http://www.seminarhouse.or.jp/>

### 【プログラム】

9月18日(金)

17:00～

受付

18:00～19:00

夕食

19:00～19:15

開会

19:15～20:45

全体会1

21:00～22:50

分科会討論1

9月20日(日)

8:00～

朝食

9:30～11:50

分科会討論4

12:00～13:00

昼食

13:00～14:45

全体会3

15:00～16:00

全体会4

16:00～

修了証・閉会

9月19日(土)

8:00～

朝食

9:30～12:00

分科会討論2

12:00～13:00

昼食

13:30～15:00

全体会2

15:30～17:30

特別講演

17:45～18:45

夕食

19:00～21:30

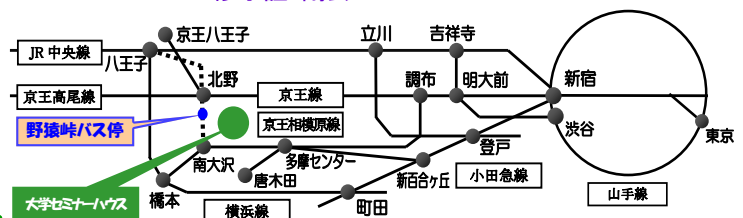
分科会討論3

21:30～23:00

情報交換会



セミナーの詳細は  
QRコードをスキャンして  
詳しい情報を見よう



公益財団法人大学セミナーハウスは2015年に開館50周年を迎えます。

# 豪華な講師陣、6分科会で徹底討論

## 第1分科会 危機克服へと進むユーロ圏—銀行同盟を中心に



田中 素香  
EUセミナー企画委員・講師  
中央大学客員研究員  
日本EU学会元理事長



太田 瑞希子  
EUセミナー企画委員・講師  
亜細亜大学国際関係学部講師

### 【主旨】

2007年から展開したグローバル金融危機・ユーロ危機に対応して、欧州中央銀行（ECB）は、「最後の貸し手」として、銀行に対する無制限の資金供給や国債の買入れを行い、銀行システムとユーロの崩壊を防いだ。ユーロ危機は最悪期を脱したものの、景気低迷の長期化やデフレ懸念の強まりなど経済的困難は続いている。ECBはついに2015年3月、月間600億ユーロの債券買入を軸とする量的緩和（QE）へと踏み切った。また「銀行同盟」のスタートによって、今年から域内の重要銀行に対する監督も担う。ECBの重要性は飛躍的に高まっている。その新しい役割とユーロ圏経済の危機脱却について広く議論する。

## 第2分科会 EUエネルギー同盟と世界エネルギー市場の再編



蓮見 雄  
EUセミナー企画委員・講師  
立正大学経済学部教授

### 【主旨】

エネルギー市場の自由化と再生可能エネルギーの発展によって、世界エネルギー市場の再編が劇的に進んでいる。石油や天然ガスなど化石燃料を輸入に依存しているEUは、この変化に適応するために、エネルギーと気候変動を一体の問題として対策を講じている。「2020-2030年の気候変動・エネルギー政策枠組」（2014年）は、温室効果ガスを1990年比40%削減し、最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を27%（電力の45%）にする目標を掲げた。「エネルギー同盟パッケージ」（2015年）は、供給の安全保障と低炭素社会の実現の両立を目指している。EU-ETS（排出取引制度）、固定価格買取制度、スマート・シティなど様々な試みを通じて、EUは、持続可能な経済を実現しようと挑戦している。EUの挑戦から我々は何を学ぶことができるだろうか、ともに考えてみたい。

## 第3分科会 EUとドイツの理想追求—基本権保障を中心に—



中西 優美子  
EUセミナー企画委員・講師  
一橋大学大学院法学研究科教授

### 【主旨】

第3分科会では、EUとドイツの理想追求を、基本権の保障を中心に考えていきたい。2009年12月1日に発効したリスボン条約により、EU基本権憲章がEU条約及びEU運営条約と同一の法的価値を有すると位置づけられた。EU基本権憲章は、1970年代よりドイツ連邦憲法裁判所を中心に基本権カタログの制定の必要性が説かれ、それが実現したものである。EU基本権憲章起草にあたっては、ドイツがリーダーシップを発揮した。現在、EU基本権憲章により、忘れられる権利を含む個人データ保護権・プライバシー権、家族の権利、情報アクセス権、環境など新しい人権が保障されるようになってきている。分科会では、EU基本権憲章までの道のりと法的拘束力をもったEU基本権憲章の中身を検討していきたい。

## 第4分科会 EUの民主的ガバナンスと人の自由移動、移民・難民政策



福田 耕治  
EUセミナー企画委員・講師  
早稲田大学政治経済学術院教授  
日本EU学会理事長

### 【主旨】

欧州債務危機以後、EU域内における人の自由移動政策に疑問の声が上がり、EUの存在意義や連帯の在り方が問われている。2014年の欧州議会選挙を経てEU懐疑派やEU脱退論、反移民感情が高まりを見せ、移民・難民問題やテロリズムにどう対処するのか物議を醸し、極右・極左のポピュリズム政党の伸長、EUデモクラシーの危機といった政治的課題も山積している。この分科会では、EUの民主的ガバナンスの仕組みと政策過程を概観した後、国境を越える人の自由移動政策、移民・難民政策のEU・欧州統合にとっての意味と課題について考える。

## 第5分科会 EU市民アイデンティティの行方—



押村 高  
EUセミナー企画委員・講師  
青山学院大学国際政治経済学部教授

### 【主旨】

2015年5月の英国総選挙で明らかになったように、EU加盟国の幾つかで経済危機を背景に「EU脱退論」が一定の支持を集めています。このことは、市場、機構、制度を共有してガバナンスの枠組みを作るだけでは真の共同体に至らず、市民サポートを得るためEUが「共通アイデンティティ」のさらなる育成を必要としている証拠、とみてよいでしょう。本セッションでは、これまでのEUアイデンティティの議論を整理し、またEUが国境を越えた市民の連帯心育成のために行ってきた諸政策（基本権保障、市民イニシアティブ、政策対話、市民間交流、移民の統合、共通文化・メディア政策ほか）を概観し、市民やヒトという目線からEUの課題を検討します。英語のポリシー・ペーパー（さほど難しい英語ではありません）を読むことを厭わない学生の参加を歓迎します。

## 第6分科会 世界の中のEU



小久保 康之  
EUセミナー企画委員・講師  
東洋英和女学院大学国際社会学部教授



渡邊 啓貴  
EUセミナー企画委員長・講師  
東京外国語大学国際関係研究所長・教授

### 【主旨】

マーストリヒトの三本柱の一つとして共通外交安全保障政策が樹立され、コソボ・イラク戦争などを経験する中で、共通防衛政策まで発展して行った。実際には、共通防衛政策は軍事活動よりも市民活動の方が現在は多くなっているが、グローバルな展開をしている。そうした中でEU・NATO加盟国はアメリカとの域外協力において多々摩擦を起こしがちであり、米欧の関係も検討してみたい。また、2003年から始まったEUの欧州近隣政策（ENP）は、ウクライナ危機、中東でのアラブの春とそれ以降の混乱、難民問題の引き金となり、軽率な政策だったのではないかと批判も出てきている。他方、EUに権限が移譲されている通商政策分野では、世界中との通商関係の発展を目指して、様々な形での自由貿易協定が締結されたり、交渉が始まったりしている。大市場をバックにしたEUの対外経済戦略についても考えてみたい。

**開催主旨** ギリシャの財政危機やウクライナ情勢は予断を許さない。しかしユーロ圏は危機を脱し、銀行同盟に向けた道を歩み始め、エネルギー同盟は形を整えつつある。様々な国際的不安定情勢をめぐって、対話枠組みをもとにしたEU共通防衛政策の多面的な取り組みも進められている。もともと欧州統合はつねにある種の危機ばねを契機として制度設計を進め、前進をしてきた。その意味ではEUはひとりの欧州統合悲観論から脱して、今さらなる新しい段階に向かっている。本年はこのような立場からEUの現状と未来について問題提起し、議論する。  
(EUセミナー企画委員会委員長 渡邊 啓貴)

主催：公益財団法人大学セミナーハウス 共催：東京外国語大学国際関係研究所 後援：駐日欧州連合代表部